

2021/2/16 (火)

障害を価値に変える

～ バリアバリューから未来を創る ～

株式会社ミライロ

講師 原口淳

1. 自己紹介

■原口のこれまで

- ・生まれたときからまったく目が見えない
- ・「障害者」として見られることに対する違和感
- ・高校時代放送部に所属し全国大会に出場。夢だった甲子園の舞台へ。

■バリアバリュー

歩けなくてもできることから、歩けないからできることへ
障害は「強み・プラス・価値」に置き換えることができる

2. 今、向き合うべき3つのバリア

■障害者差別解消法

下記の2つを行政機関と民間事業者へ義務付けている

- ・障害を理由とした不当な差別的扱いを禁止
- ・社会的障壁を取り除く合理的配慮を行う

■障害者雇用の現状

- ・日本 1.22%
- ・米国 14.4%

■今、日本でユニバーサルデザインを求める人々

- ・高齢者 3,589万人（人口の約28%）
- ・障害者 964万人（人口の約8%）
- ・3歳未満 280万人（人口の約2%）

■日本のおいしい！現状

人も企業も向き合い方が二極化「無関心か過剰」

■大切な考え方

障害は人ではなく、環境にある

■社会に存在する3つのバリア

環境・意識・情報の3つのバリアに分類される

■環境のバリアが及ぼす影響

車いすで入店可能な店は飲食店全体の4.8%

心のバリアフリーがより重視されている

■ユニバーサルマナーとは

自分とは違う誰かのことを思いやり、適切な理解のもと、行動すること

ハードが変えられなくても、ハートは今から変えられる

■社会貢献だけではなくビジネスへ

社会性と経済性の両立により持続的な取り組みへ

3. 私たちに求められること

■求められる姿勢

無関心でも過剰でもない、さりげない配慮が必要

■真のニーズを掴むために

押し付けではなく、選択肢を

■多様性と向き合うために

100点満点を目指さない

4. 素晴らしい人生の鍵

■視点を変えるために

出来事ではなく、受け取り方で結果は変わる

以上